

【資料9】

## 中津市保幼小連携協議会について

〔目的〕

保育園（所）・認定こども園・幼稚園における子供の育ち及び乳幼児教育の内容を小学校生活に円滑に接続していくことができるよう、情報交換や研修を通して相互理解を深める。

1 実施日

年間2回（5月・2月）

\* 8月に「中津市保幼小連携研修会」を開催する。

2 対象

中津全市内の保育園（所）・認定こども園・幼稚園・小学校

\* 60前後の園・校から各1, 2名の教職員が集まる。

3 内容

(1) 接続期の子供の姿やお互いのカリキュラム等について情報交換する。

①お互いの子供の実態を知り、育てたい力は何かを明確にしたうえで、連続した取組が進められるように共通理解する。

②子供の姿から、それぞれのカリキュラムの見直し・改善を図る。

③お互いの年間カリキュラムを持ち寄り、子供同士の交流計画をたて一層の連携・接続の強化を図る。

(2) 保育士・保育教諭・幼稚園教諭・小学校教諭・管理職の交流を図る。

①大まかに小学校区ごとにグループになり、会を進めることを通して、先生同士の理解も深まり、連携を進めやすくなる。

・入学後、支援の必要な子供に対する情報を取りやすい。

・小学校の参観日や行事など、気軽に参加しやすくなる。

4 その他

(1) 「中津市保幼小連携研修会」では、同じメンバーでその年に学びたいことをテーマにして研修を深める。

・小1プロブレム

・スタートカリキュラム・アプローチカリキュラム

・幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 等

(2) 2月の「連絡会」

各園での育ちや援助について具体的に小学校へ引継ぐ会に発展した。